

日 本 史

第1問 次の文章(1)～(4)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 律令政治における農民の生活は決して安定したものではなかった。農民は班給された A を耕作するほか、 A 以外の田を借り、その収穫物を特定の割合で納めるものもいた。また、兵役や雑徭などの労役、^(ア) 運脚 ^(イ) があったため農民の生活に余裕はなかった。

政府は、^(ウ) A の不足をおぎない増収をはかるために、722（養老6）年に開墾計画を立て、翌年に三世一身法を施行した。しかし、農民の中には、 B に「率土の百姓、四方に浮浪して課役を規避し、遂に王臣に仕へて、^{あるいしじん} 或は資人を望み、^{とくとど} 或は得度を求む」と記されたように貧困化するものがあらわれた。

問1 空欄の A B に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | | | | |
|---|---|----------|----------|---------|---------|
| 1 | A | ① 保 | ② 名田 | ③ 田堵 | ④ 口分田 |
| 2 | B | ① 『日本書紀』 | ② 『続日本紀』 | ③ 『古事記』 | ④ 『梅松論』 |

問2 下線部(ア)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 3

- ① 地子として収穫の5分の4程度の割合で納めた。
- ② 正丁の2分の1の割合で納めた。
- ③ 正丁の4分の1の割合で納めた。
- ④ 地子として収穫の5分の1程度の割合で納めた。

問3 下線部(イ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 4

- ① 街道輸送のために課された人馬の夫役のこと。
- ② 江戸と国元間におかれていた人夫のこと。
- ③ 貢納物を中央政府に納める人夫のこと。
- ④ 港湾を拠点に商品の保管や輸送にあたった運送業者のこと。

問4 下線部(ウ)の窮乏生活をうたった貧窮問答歌の一節として最も適切なものを、以下から選べ。 5

- ① 韓衣からごろも 裾すそに取りつき 泣く子らを 置きてそ来ぬや 母おもなしにして
- ② 世間よのなかを憂うしとやさしと思へども 飛び立ちかねつ鳥にしあらねば
- ③ わが屋戸やどのいささ群竹むらたけ吹く風の 音のかそけきこの夕ゆうべかも
- ④ み吉野きさやまの象山まの際きぬれの木末には こだも騒く鳥の声かも

問5 下線部(エ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 6

- ① 荘園、公領の年貢の半分を軍費として取得したもの。
- ② 開墾した田地の私有を永年にわたり保障したもの。
- ③ 良田100万町歩の開墾を計画したもの。
- ④ 旧来の灌漑施設を利用して開墾した場合、本人一代限り田地の保有を認めるもの。

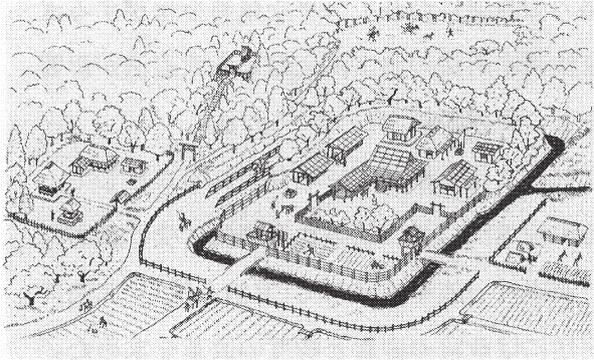
(2) 鎌倉時代の武士は、河川の近くの微高地に館(オ)をかまえることがしばしばあった。館の周辺部では、下人や農民に直営地を耕作させた。こうした直営地などは一族(カ)に分割相続され宗家と分家にわかれた。宗家の首長は惣領(キ)と呼ばれた。

武士の生活は質素であり、家来の「華美な衣装の袖を刀で切りとった」という有名な説話(ク)が残っている。また、武士としての地位を守るために笠懸(ケ)などの武芸が重視され訓練をおこなった。

問6 下線部(オ)を示す資料として最も適切なものを、以下から選べ。

7

①



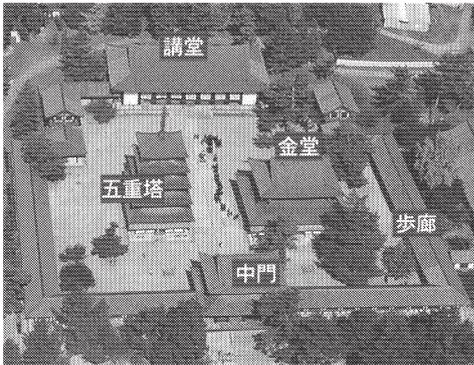
『詳説日本史B』山川出版社（2020年）

②



国立歴史民俗博物館所蔵

③



ウイングス・フォト 宮崎一雄

④



著作権の都合により、類似の写真に差し替えています。

問7 下線部(カ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

8

- ① 相続は一族に財産の8割、2割を家臣に与えた。
- ② 相続は男性に限られ、兄弟が公平に相続した。
- ③ 相続は男性と女性に平等に行われた。
- ④ 相続は庶子に一括して行われ、のちに分配された。

問8 下線部(キ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

9

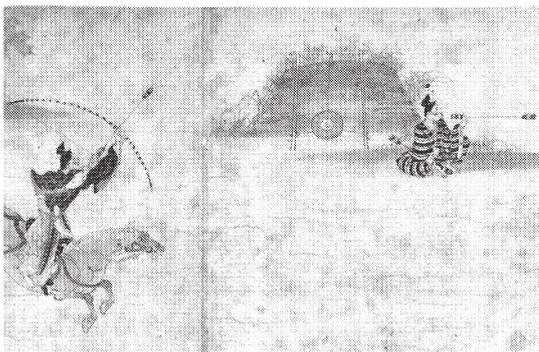
- ① 年貢を納める責任者として惣掟を定めた。
- ② 戦時に参戦する義務はなく農民の耕作指導をおこなった。
- ③ 先祖の祭りや一門の氏神の祭祀の権利、義務があった。
- ④ 一門の代表者であり御家人の地位にはなかった。

問9 下線部(ク)は『吾妻鏡』にある説話である。切りとった人物名として最も適切なものを、以下から選べ。 10

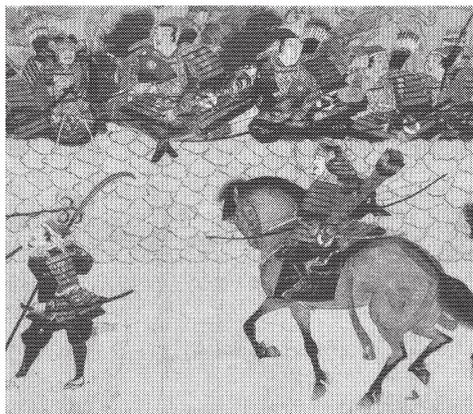
- ① 北条時宗 ② 北条時頼 ③ 源義経 ④ 源頼朝

問10 下線部(ケ)を描写したものとして最も適切なものを、以下から選べ。 11

①



②



③



④



(3) 幕藩体制下における農業は、社会の構成要素として村と百姓が重要な役割をはたした。村は百姓の集落として田畑の耕作などおこなう小社会を形成し、村方三役と呼ばれる村役人をはじめとする村民によって運営された。

(コ) 村の運営は C ^(カ) にもとづいておこなわれ、これに背くと D などの制裁がくわえられたりした。また、村請制 ^(シ) の導入や 五人組 ^(ス) の編成が行われた。

問11 空欄の C D に当てはまる語句として最も適切なものを、
以下から選べ。

12 C ① 建武式目 ② 分国法
③ 強訴 ④ 村掟

13 D ① 獄門 ② 殉死 ③ 答罪 ④ 村八分

問12 下線部(コ)に該当するものとして最も適切なものを、以下から選べ。 14

① 名主・田堵・百姓代 ② 名主・組頭・百姓代
③ 名主・組頭・水呑百姓 ④ 名主・田堵・水呑百姓

問13 下線部(サ)に関する説明として明らかに**適切でないもの**を、以下から選べ。

15

① 用水や山野の管理を共同でおこなった。
② 村入用と呼ばれる経費の負担，責任を負った。
③ 城下町におかれ民政を管理した。
④ 田植えや稲刈りなどを分担し，その指導にあたった。

問14 下線部(シ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 16

① 村の責任で年貢，諸役を納入する制度のこと。
② 豊作凶作に関係なく過去の年貢高を基準にして年貢を納める制度のこと。
③ 田畑，屋敷地，山地の本年貢のこと。
④ 地主から土地を借りて家屋を建てて居住する制度のこと。

問15 下線部(ス)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 17

① 治安維持は村役人が行い，村民は関与することがなかった。
② 年貢の納入に連帯責任を負わされた。
③ 村々に設置した目安箱を通じて，役人の不正を訴えることができた。
④ 五穀を植えることは禁じられていた。

(4) 18世紀、徳川吉宗の時代、幕府は検見法を改め E を取り入れて年貢率の引上げをはかった。一部の有力な百姓が地主手作をおこなうことや困窮した百姓に手持ち資金を利貸して質にとった田畑を集めて地主に成長した。しかし、困窮した百姓には年貢や諸役の負担は重いままであり、その不満や怒りが領主に向けた直接行動にあらわれた。この直接行動は明治初期のものまで含めると、3700件ほどが確認されている。さらに天候不順やいなごが大量に発生したことによる大凶作は全国におよび飢饉となった。

一方、教育においては郷校として大坂の商人が出資した F があり、そこで学んだ G などの異色の町人学者を生んだ。庶民の教育は、都市や村々を問わず H といわれる施設がつくられ神職や富裕な町人によって運営された。

問16 空欄の E ～ H に当てはまる語句として最も適切なものを、

以下から選べ。

- | | | | |
|----|---|---------|--------|
| 18 | E | ① 棄捐令 | ② 太閤検地 |
| | | ③ 定免法 | ④ 地租改正 |
| 19 | F | ① 古義堂 | ② 懐徳堂 |
| | | ③ 鳴滝塾 | ④ 芝蘭堂 |
| 20 | G | ① 富永仲基 | ② 荻生徂徠 |
| | | ③ 熊沢蕃山 | ④ 緒方洪庵 |
| 21 | H | ① 和学講談所 | ② 藩校 |
| | | ③ 貸本屋 | ④ 寺子屋 |

問17 下線部(セ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

22

- ① 地主が田畑を小作人に貸して、かわりに関銭をとりたてた。
- ② 地主が零細農民を雇って田畑を経営することを蔵元という。
- ③ 商品作物生産の中心となる者もあらわれた。
- ④ 振売と呼ばれ常設の店舗や路上の店を設けた。

問18 下線部(ソ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 23

- ① 18世紀においては惣百姓一揆と代表越訴型一揆はおこらなかった。
- ② 国訴は18世紀にはおこらなかった。
- ③ 18世紀においては惣百姓一揆と代表越訴型一揆が件数で同じ割合だった。
- ④ 代表越訴型一揆の代表例が一向一揆である。

問19 下線部(タ)のうち当時の大坂における打ちこわしの発生順として最も適切なものを、以下から選べ。 24

- ① 天明の打ちこわし → 天保の打ちこわし → 慶応の打ちこわし
- ② 天保の打ちこわし → 慶応の打ちこわし → 天明の打ちこわし
- ③ 慶応の打ちこわし → 天明の打ちこわし → 天保の打ちこわし
- ④ 天保の打ちこわし → 天明の打ちこわし → 慶応の打ちこわし

問20 下線部(チ)で徳川吉宗の時代に発生した飢饉として最も適切なものを、以下から選べ。 25

- ① 寛永の飢饉 ② 天明の飢饉 ③ 天保の飢饉 ④ 享保の飢饉

第2問 次の文章(1)～(4)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 洋学は、徳川吉宗が積極的に西洋の学問を摂取しようと漢訳洋書の輸入制限を緩めて以降、本格的に発達した。その後、開国をきっかけにして、明治になっても、洋学は、医学、自然科学、技術をはじめ政治や社会事情^(ア)についても積極的に受け入れられ、広まっていき、日本人によって西洋の思想が翻訳・紹介^(イ)された。また、開国後、ヘボンやフルベッキといった外国人宣教師が来日して、キリスト教の布教と教育、医療、慈善活動を行った。その結果、1870年代^(ウ)には、欧米の文化や生活様式が、東京などの都会や開港場を中心に広がっていった。

のちに第20代内閣総理大臣となった高橋是清は、横浜でヘボン夫人らから英語を学び、1867（慶応3）年にアメリカに留学した。帰国した後は、森有礼^(オ)の世話になり、大学南校の教官となって英語を教え、文部省や農商務省に勤めるなどして活躍した。

問1 下線部(ア)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 26

- ① 大森貝塚を発見したモースは、東京大学で動物学を教えた。
- ② 三井によって長崎造船所がつくられ、オランダ製の工作機械が導入された。
- ③ 大村益次郎は、京都の山脇東洋に医学を学び、江戸で医学塾順天堂を開いた。
- ④ 高島秋帆が鉛製活字の量産技術導入に成功し、活版印刷技術が発達した。

問2 下線部(イ)に関して、明治期の翻訳者と翻訳書の組合せとして最も適切なものを、以下から選べ。 27

翻訳者 翻訳書

- ① 大槻玄沢 『ハルマ和解』
- ② 加藤弘之 『人権新説』
- ③ 中村正直 『西国立志編』
- ④ 志筑忠雄 『曆象新書』

問3 下線部(ウ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 28

- ① 新政府は、救世軍の宣教師・信徒26名を捕らえて、長崎の西坂で処刑した。
- ② 新政府は、成立直後、信教の自由を認めた。
- ③ 新渡戸稲造は、宣教師ヴァリニャーニに影響されてキリスト教に入信した。
- ④ 新政府は、五榜の掲示でキリスト教を禁止した。

問4 下線部(エ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

29

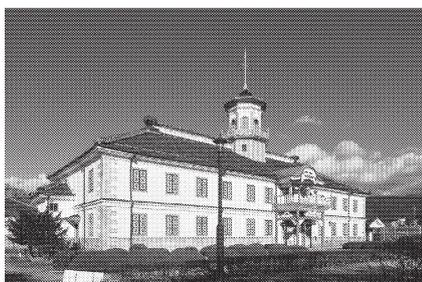
① ラジオ放送開始



② デパート食堂での食事



③ 和洋混交（擬洋風）建築



松本市教育委員会
著作権の都合により、類似の写真と差し替えています。

④ モガ、銀座通りを闊歩



問5 下線部(オ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

30

- ① 森有礼は佐賀藩の出身で、司法卿を務めた。
- ② 森有礼は明六社創立を發議した啓蒙思想家である。
- ③ 森有礼は、キリスト教徒の良心から教育勅語に最敬礼をせず、批判された。
- ④ 森有礼の著書として、『西洋事情』がある。

(2) 2020（令和2）年は、1920（大正9）年に第1回国勢調査が実施されてから100年を迎えたという記念の年にあたる。国勢調査とは、国内の人及び世帯の実態を把握して、行政の施策その他の基礎資料を得ることを目的としている調査である。

1902（明治35）年に「国勢調査ニ関スル法律」が制定され、世界人口センサスに参加するため、第1回国勢調査の実施が1905年に予定された。しかし、1904年に日露戦争が始まったため、実施は中止された。なお、日露戦争には多額の戦費がかかった。

その後、仕切り直して、第1回国勢調査を1915年に実施する予定だったが、Aのため、再び中止された。しかし、その後、原敬内閣の1920年10月1日に、ようやく実施されたのである。以下の年表Xは、原敬内閣前後のできごとについてまとめたものである。

年表X

年	月	できごと	
		国際	国内
1918	7		米騒動が富山県から全国へ拡大
	8	シベリア出兵を宣言	
	9		原敬内閣成立
1919	1	パリ講和会議	
	2		東京で普通選挙期成大会
	3	三・一独立運動	
1920	5	五・四運動	
	6	ヴェルサイユ条約調印	衆議院議員選挙法改正、公布
	1	国際連盟発足、加盟	
	2		数万人による普選要求大示威行進
1921	3		戦後恐慌始まる
	4		日本銀行、非常貸出しを行う
	5		第14回総選挙で立憲政友会勝利
	8		海軍八・八艦隊建造予算公布
	10		第1回国勢調査実施
	8	<u>B</u> への参加を決定	
	11		原敬暗殺（原内閣総辞職）
		<u>B</u> 開催（～1922年2月）	

問6 空欄 A B に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | | |
|----|---|--------------|-------------|
| 31 | A | ① 張鼓峰事件 | ② 関東大震災 |
| | | ③ 大津事件 | ④ 第一次世界大戦 |
| 32 | B | ① ワシントン会議 | ② ジュネーブ軍縮会議 |
| | | ③ ロンドン海軍軍縮会議 | ④ マルタ島会談 |

問7 下線部(カ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 33

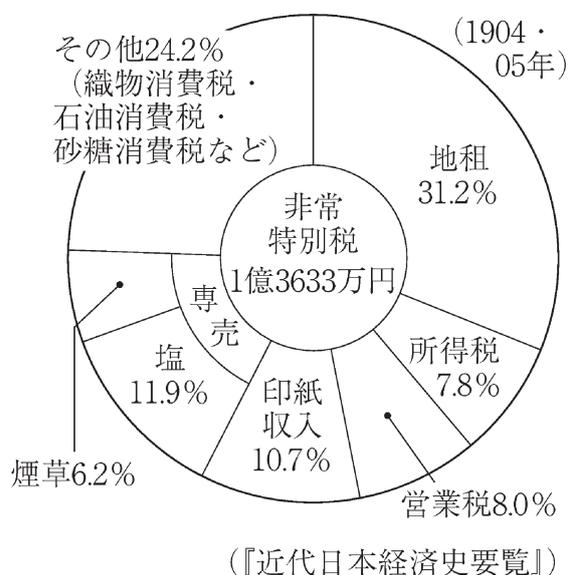
- ① 開戦以前に、日本はイギリスと同盟を結んでいた。
- ② 開戦同年に奉天会戦、日本海海戦と続けて勝利した。
- ③ 戦死・戦病死者数は約8万5000人と、日清戦争時よりも少なかった。
- ④ 講和条約締結の結果、日本は千島全島を獲得した。

問8 以下の表I, グラフI・IIをみて, 下線部(キ)に関する説明として最も適切なものを, 以下から選べ。 34

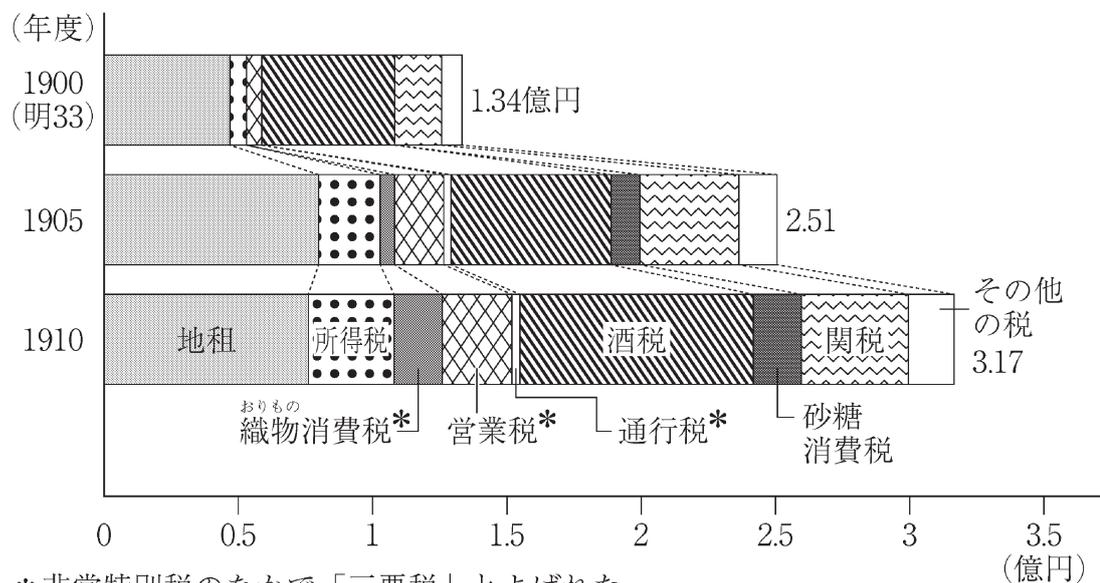
表I 臨時軍事費の財源 (予算)

内債・外債	13億1354万円
一時借入金	1億7888
一般会計繰替 (非常特別税を含む)	1億8900
特別会計資金繰入	6300
軍資献納金	150
雑収入	50
合計	17億4642万円

グラフI 非常特別税



グラフII 歳入における租税収入



* 非常特別税のなかで「三悪税」とよばれた。

(『明治大正財政詳覧』)

- ① 戦費は1905年度の歳入における租税収入の額に匹敵する。
- ② 戦時下で新設された税には戦後も継続したものがある。
- ③ 戦費の3分の1が、国内外から調達された国債でまかなわれた。
- ④ 戦争中の国民の高負担を考慮して、戦後減税した。

問9 下線部(ク)の直前の内閣名として最も適切なものを、以下から選べ。 35

- ① 若槻礼次郎 ② 西園寺公望 ③ 山本権兵衛 ④ 寺内正毅

問10 年表Xをみて、下線部(ク)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 36

- ① 軍部大臣も政友会員からなる本格的な政党内閣であった。
- ② 民衆の要求に応じて、満20歳以上の男子普通選挙を実現した。
- ③ 海軍で、主力艦を建造しないなどの大規模な「宇垣軍縮」を行った。
- ④ 大戦景気を背景に鉄道の拡充など積極政策を行おうとしたが、戦後恐慌によってゆきづまった。

(3) 高橋是清は、田中義一内閣の大蔵大臣として、 C で、日本銀行から巨額の救済融資をおこない、金融恐慌をしずめることに成功した。

その後、1929年に発生した世界恐慌に対して、立憲民政党を与党とする内閣の大蔵大臣による対処ではうまくいかず、高橋が^(ケ)犬養毅内閣の大蔵大臣に就任し、その直後に D を行って、円の金兌換を停止した。これによって、日本は E に移行した。また、それまでの緊縮財政を転換して、恐慌対策と軍事費を増大させて予算を拡大したため、日本は、1933年には、他の資本主義諸国に先駆けて、世界恐慌前の生産水準に回復した。^(イ)

高橋は、犬養毅内閣以降も大蔵大臣を務めて活躍したが、二・二六事件で殺害され、82年の生涯を終えた。^(シ)

問11 空欄 C ~ E に当てはまる語句として最も適切なものを、
以下から選べ。

- 37 C ① 増税による歳入増加
② 国立銀行条例制定
③ モラトリアム（支払猶予令）
④ 不換紙幣の回収
- 38 D ① 金輸出解禁 ② 金輸入禁止
③ 金輸入解禁 ④ 金輸出再禁止
- 39 E ① 管理通貨制度 ② 金本位制度
③ 銀本位制度 ④ 金銀複本位制度

問12 下線部(ケ)の人物名として最も適切なものを、以下から選べ。 40

- ① 片岡直温 ② 宮沢喜一 ③ 福田赳夫 ④ 井上準之助

問13 下線部(コ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 41

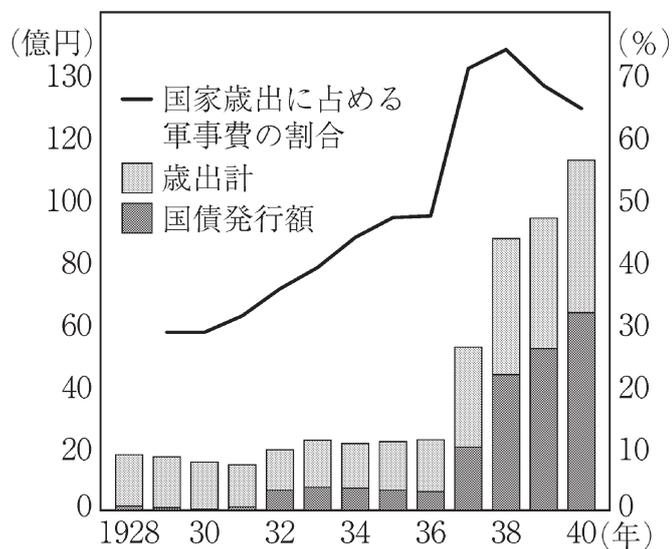
- ① 同内閣は、立憲政友会総裁犬養毅が組閣した政党内閣であったが、海軍大臣は立憲政友会員ではなかった。
- ② 同内閣は陸軍などの圧力に屈服し、国体明徴声明を出して天皇の神格を否認した。
- ③ 同内閣の失政により、左翼の血盟団の青年によって、三井財閥重役の団琢磨・洪沢栄一が暗殺された。
- ④ 五・一五事件による同内閣総辞職後も、斎藤実内閣、岡田啓介内閣と政党内閣が継続した。

問14 下線部(サ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 42

- ① 綿花や石油の輸入先が、アメリカからインドをはじめとするアジアへ変わった。
- ② インフレーションと円安を利用して、綿織物の輸出が拡大し、イギリスを抜いて世界第1位の規模に達した。
- ③ ソニーなど六大企業集団は、軍部と結びついて重化学工業に進出し、満州などへ積極的に投資した。
- ④ アメリカは、日本の助言によるニューディール政策で、危機を切り抜けることに成功した。

問15 以下のグラフⅢをみて、下線部(シ)に関して述べた文として最も適切なものを、以下から選べ。 43

グラフⅢ



(高橋亀吉『大正昭和財界変動史』ほか)

- ① 高橋是清は、1928～1931年度に国債発行額を減少し、財政を緊縮させた。
- ② 高橋是清は、満州事変後の軍事費の増大に対応するため、1932年度に国債発行額を上げて、歳出規模を20億円程度に増大させた。
- ③ 国家歳出に占める軍事費の割合は、高橋是清が大蔵大臣在任中に70%を超えた。
- ④ 高橋是清は軍部の圧力に負けて、1937年に軍事費を含めた歳出額を急増させた。

(4) 本来、1945（昭和20）年に第6回国勢調査が実施される予定だったが、戦争のため中止され、1947年に臨時国勢調査として実施された。その後、国勢調査は5年毎に実施され、2020（令和2）年に第21回国勢調査が実施された。

以下の表Ⅱは、第7回から第13回までの国勢調査と社会のできごとをあらわしたものである。これをみると、そのときどきの社会の変化が、国勢調査の調査事項等に反映されていることがわかる。

表Ⅱ

	国勢調査の調査事項等	社会のできごと
第7回国勢調査 1950年	出産力に関する事項を調査	第1次ベビーブーム (1947～1949年)
第8回国勢調査 1955年	トカラ列島・奄美群島が 鹿児島県に加わる	<u>サンフランシスコ平和条約調印</u> (ス) <u>(1951年9月)</u>
第9回国勢調査 1960年		<u>新日米安保条約締結 (1960年1月)</u> (セ)
第10回国勢調査 1965年	「大都市圏」を設定	人口の大都市集中
第11回国勢調査 1970年	「通勤通学のための利用交通手段」、 「従前の常住地」が加わる	人口移動が激化
第12回国勢調査 1975年	沖縄県が加わる	<u>沖縄日本復帰 (1972年5月)</u> (ソ)
第13回国勢調査 1980年	高齢者に関する統計を充実	

出所) 総務省統計局「国勢調査100年のあゆみ」より作成。

問16 下線部(ス)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 44

- ① 日本とアメリカをはじめとする西側諸国、ソ連、中国、インドなど48カ国との間で締結された。
- ② この条約の発効によって、奄美群島が日本に返還された。
- ③ 日本が講和に応じたのは、再軍備の負担を避け経済復興に全力を注ぐためだった。
- ④ この条約に基づいて、アメリカなど交戦国は日本に多額の賠償金を請求した。

問17 下線部(セ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 45

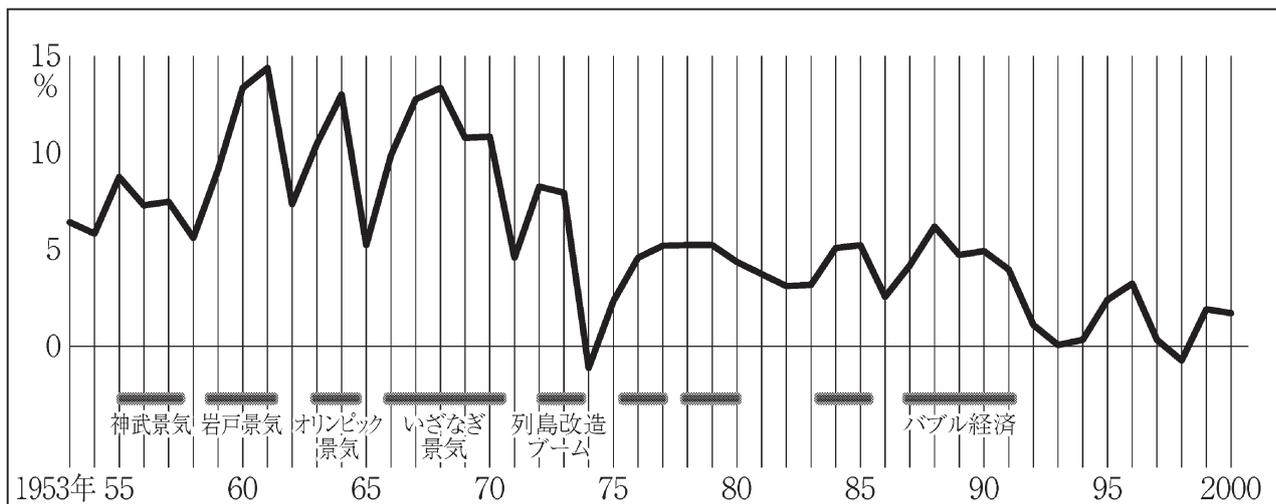
- ① 「日本国の安全」と「極東における国際の平和及び安全」のため、アメリカ軍の駐留が認められた。
- ② アメリカ軍には、日本を防衛する義務はないとされた。
- ③ この条約締結時の首相は吉田茂であった。
- ④ 巨大なデモが1か月国会を取り巻いた結果、自動延長されなかった。

問18 下線部(ソ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 46

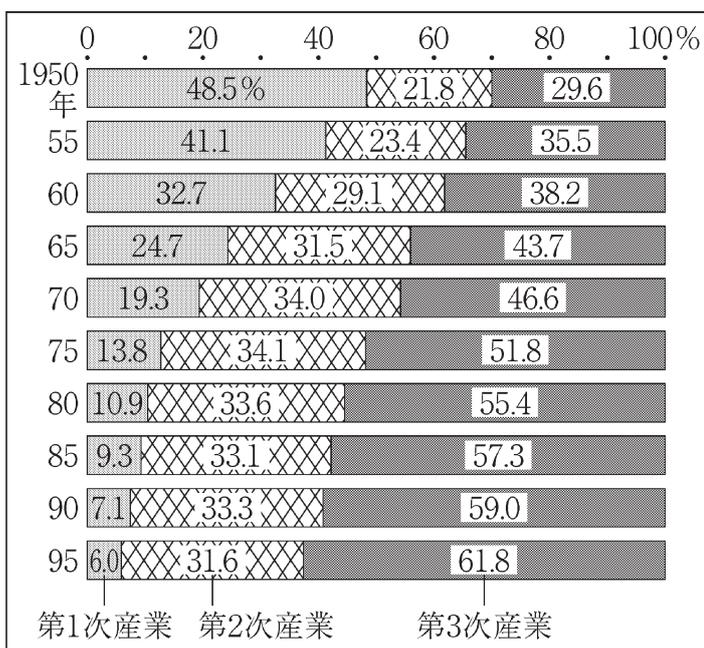
- ① 1945年のアメリカ軍侵攻後、沖縄では、アメリカ軍による軍政が日本復帰まで行われていた。
- ② 日本復帰時、日本は独立国としての主権を回復していた。
- ③ 日本復帰時の日本の首相は岸信介であった。
- ④ 日本復帰後、アメリカ軍基地はなくなり、自衛隊の基地となった。

問19 以下のグラフⅣ・Ⅴ、表Ⅲ・Ⅳは表Ⅱの補足資料であるが、これらに関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 47

グラフⅣ 戦後の経済成長率（実質）の推移



グラフⅤ 産業別就業者数の推移（15歳以上）



表Ⅲ 合計特殊出生率の推移

1947	4.54
1950	3.65
1955	2.37
1960	2.00
1965	2.14
1970	2.13
1975	1.91
1980	1.75
1985	1.76
1990	1.54
1995	1.42
2000	1.36

表Ⅳ 大都市人口の変化（単位：千人）

	東京23区 (A)	大阪市 (B)	名古屋市 (C)	A + B + C	A + B + Cの 占める割合	全国の人口
1950	5,385	1,956	1,031	8,372	10%	83,200
1960	8,310	3,012	1,592	12,914	14%	93,419
1970	8,841	2,980	2,036	13,857	13%	103,720
1980	8,352	2,648	2,088	13,088	11%	117,060
1990	8,164	2,624	2,155	12,943	10%	123,611
2000	8,135	2,599	2,172	12,906	10%	126,926

注) グラフⅣ以外の数値はすべて各年国勢調査結果による。

出所) グラフⅣは経済企画庁『国民所得統計年報』『国民経済計算年報』による。

表Ⅲ・Ⅳは財団法人矢野恒太記念会編『数字でみる日本の100年改訂第5版』
2006年より作成。

- ① 1970年に3大都市の人口が総人口の過半を超えるほど、人口が大都市に集中した。
- ② 合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む平均の子どもの数）は、1947年度に5を超えたが、以後、低下傾向にある。
- ③ 経済成長率が、1955年頃から1980年にかけて、15%を超える年が多く、高度成長をとげた。
- ④ 第1次産業の比率が下がり、第2・3次産業の比重が高まった。

問20 表Ⅱの第8～11回国勢調査が実施された期間のできごとに関する説明として明らかに**適切でないもの**を、以下から選べ。 48

- ① 東京でオリンピックという国家的イベントが開催された。
- ② 石油化学や鉄鋼のコンビナートが建設され、太平洋ベルト地帯を形成した。
- ③ 生活にゆとりが出て、家族旅行やレジャーに余暇が費やされるようになった。
- ④ 余剰資金が株・土地の購入に振り向けられ、国内で地価や株価が高騰し、実体のない経済が膨張した。